

### 経営者や管理職の人こそ 生成AIを活用し 業務を効率化すべきだ

**生** 成AIをビジネスに活用したいという意識を持つ日本の経営者は多い。しかし、実際の業務における活用状況は、世界各国と比較して遅れているのが実情だ。

ポストンコンサルティンググループの2023年調査によると、日本において生成AIを日常的に利用している経営者の割合は、低い水準となっている（図表）。中小企業の場合、さらに低い数字であることが予想される。

生成AIを活用するためには、適切な指示能力が重要だ。これは、経営者や管理職の人こそ得意とする能力ではないだろうか。あいまいな指示をすればあいまいな答えが返ってくるが、具体的な指示を繰り返し出せばクオリティの高い成果物が得られる。その前提を理解すれば、

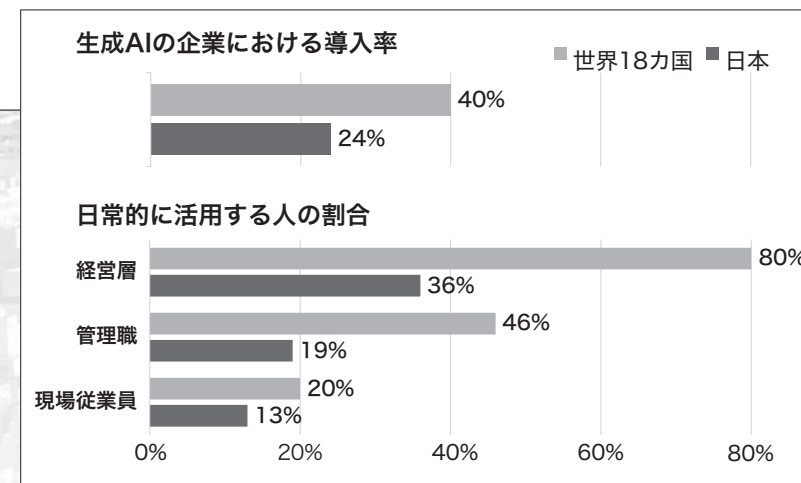
ChatGPTなどの生成AIはより使いやすくなるだろう。

経営者や管理職は、日常業務の中でどのように生成AIを活用できるか。例えば、生成AIに「オンラインミーティング中に鳴るパソコンの通知音を止めるには」と聞けば、ブラウザやOS別の設定方法が瞬時に回答として返ってくる。自分でインターネットで検索するよりも早く解決法にたどり着けるのだ。

パソコン操作に限らず何らかの問題の解決方法を知りたい場合は、「現状」と「期待する結果」を生成AIに伝えるとよい。「いまは〇〇の状態である（現状）」と「□□の状態にしたい（期待する結果）」を適切に伝えることが重要だ。

「応募者にどのような質問を投げかけたらよいか」といった採用面接に関する相

●世界18カ国を対象に調査した生成AIの企業における導入率



※調査を行った18カ国の内訳は、日本、イギリス、アメリカ、フランス、イタリア、ドイツ、スペイン、オーストラリア、インド、UAE、ブラジル、カナダ、オランダ、サウジアラビア、ニュージーランド、クウェート、オマーン、カタール  
 (出所) ポストンコンサルティンググループ『デジタル/生成AI時代に求められる人材育成のあり方』(2023年7月)を基に筆者作成

談にも、生成AIは対応できる。「あなたは〇〇社の取締役です。営業職の最終面接で投げかけるべき質問を五つ作ってください」というように、生成AIに対して想定する条件を指定するとよい。

また、「問題解決力を判断できる面接の質問を考えて」というように、質問の意図や精査したい応募者の能力を細かく伝え、得られる回答は変わってくる。生成AIを活用すると、採用面接の準備も効率化できるのだ。

#### アイデアコンテストで 生成AIの活用を推進

生成AIの業務活用を推進する際の障壁として「ノウハウやアイデアがない」「取組みを推進する体制がない」といった悩みをよく耳にする。その場合、社内

で生成AI活用のアイデアコンテストを開催するとよいだろう。弊社でも、勉強会と併せて賞金付きのコンテストを開催した結果、初めて業務での活用方法について考えたという社員が増え、部署を超えた生成AIの活用推進と業務効率化への意識付けにつながった。

生成AIという「新入社員」を迎え入れるうえでアイデアや知識を皆で出し合い、その成果を共有し合う仕組み作りが重要である。

#### 稲葉 光 いなば・ひかる

インターネット・アカデミー ITコンサルティング局 主席コンサルタント



オーダーメイド型IT研修を提供するインターネット・アカデミーでITコンサルタント部門のリーダーを務める。インストラクターやマーケットター等幅広い職種の経歴・知見を強みにデジタル人材育成の支援をした企業数は400社を超える。

※本連載は中小企業支援を手がける専門家の方々が交代で執筆します